

＜認知症の人の行方不明対策に関する海外の先駆的事例に関する調査研究事業＞

## 「行方不明を防ぎ、安心して外出できる地域作り」全国フォーラム ～海外の取組みを参考に、それぞれができる地域づくりの進展を～

社会福祉法人浴風会  
認知症介護研究・研修東京センター

### [ねらいと概要]

認知症の行方不明者が毎年1万件を上回り、行方不明をいかに防ぐか、またその発生時にいかに速やかに本人を見つけその命を守れるか、そのための一連の対応策や仕組みづくりが、すべての自治体/地域の急務の課題となっています。

本全国フォーラムでは、海外の行方不明に関する取組みの最新情報を参考に、これからの取組みをより効果的に加速するための「鍵」は何かを紹介します。その「鍵」の一つ一つを国内の自治体や地域でどう活かしていくことができるか、すでにチャレンジを始めている多様な立場の方たちから、「何ができるか」をテーマに、実践を通じた最新の知見や試行錯誤の中で生み出した具体的な工夫等について報告いただきます。

この機会を通じて、それぞれの立場でできることを見出し、多様な立場の人たちが力をあわせて、「認知症があっても行方不明にならずに安心して外出できる地域をつくる」アクションが進む一助にしていいただければ幸いです。

どなたでもご参加いただけるフォーラムです。ぜひ、地域の幅広い関係者にこのフォーラムをお知らせいただき、多くの方々にご参加下さりますようお願い申し上げます。

日時：3月3日（金） 10時30分～16時30分

場所：コクヨホール（東京都港区港南1-8-35） 品川駅港南口 徒歩5分

内容：プログラム参照

対象：都道府県行政関係者、市区町村行政関係者、地域包括支援センター職員、介護関係者、医療関係者、社会福祉機関関係者、警察・消防、企業、認知症の本人、家族、市民、教育・研究機関関係者・学生等 どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料

定員：300名

申込み：裏面の申込書に記載いただき、当センター担当まで直接お申込み下さい。  
先着順で受け付けます。参加申込み受け付けについては、ご返信いたしませんのでご了承願います。申込み定員を上回る場合のみ、ご連絡差し上げます。

締切：2月28日（火）\*定員になり次第、締切日前でも申し込みを締切ることがありますことをご了承願います。

### 【問い合わせ先】

認知症介護研究・研修東京センター

「行方不明を防ぐ全国フォーラム」担当（永田、翠川）

電話：03-3334-1150

ファックス：03-3334-2156

メール：cmr@dcnet.gr.jp

＜認知症の人の行方不明対策に関する海外の先駆的事例に関する調査研究事業＞

「行方不明を防ぎ、安心して外出できる地域作り」全国フォーラム  
～海外の取組みを参考に、それぞれができる地域づくりの進展を～

日時：2017年3月3日（金） 10:30～16:30

場所：コクヨホール（東京都港区港南 1-8-35）

【 プログラム（予定） 】

時 間	内 容
10:30～10:40	開会・あいさつ
10:40～11:10	1. 行方不明にならずに安心して外出できる地域を、一緒に創る ～海外の取組み情報を参考に、取組みを進展させる鍵を探る～  認知症介護研究・研修東京センター
11:10～12:10	2. 鍵を握るそれぞれの立場で、できることは何か 1) 【本人】ヘルプカードやIT 機器を自分が使い、安心・安全な外出を続ける 2) 【家族】悲劇をくり返さないために、家族から伝え、備え、育て続ける
12:10～13:10	休 憩：各地域のポスター・参考資料等の閲覧・情報交換
13:10～14:40	3) 【都道府県】都道府県と警察との連携を年々強化し、実態を共有しながら 市町村・広域での行方不明者を着実に減らす推進 4) 【市区町村】認知症施策の諸事業をつなぎ・活かして、行方不明のない やさしい地域を築く 5) 【地域包括支援センター】地域の人たち、交通機関等と模擬訓練や工夫を 重ね、見守り・SOS ネットワークを年々拡充
14:40～14:55	休 憩：各地域のポスター・参考資料等の閲覧・情報交換
14:55～16:30	6) 【介護事業者×企業×市民】行方不明から安全に戻ることを願い、GPS 機器 を共に開発し、地域での迅速な発見を推進 7) 【市民】ふだんの暮らしのなかで、自分たちにもできることがある！ ～わんわんパトロール隊の活動を通じて～  3. まとめと今後に向けて